



No.78

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō

Elementary School

<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

平成28年 3月10日

遠く日高の山々の山の端もクッキリと浮かび上がる日が多くなってきました。最高気温もプラスとなる日も多く、陽の光にも少しずつ温かみを感じるようになりました。さて、今号では、保護者の皆さんからいただいた学校評価アンケートの集計結果を中心にお伝えしていきます。

保護者アンケート集計結果より ～その1～

今年度最終となる平成28年度3学期『保護者アンケート』の集計結果及び考察等がまとまりましたのでお伝えします。今回の“保護者から見た子ども像”については、全校で66名の方から回答をいただきました。回答率は、60.6%でした。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

以下は、保護者から見た子ども像の集計結果及びそのグラフです。

	とても思う	わりに思う	あまり思わない	まったく思わない
① 学校に行くのを楽しみにしていますか	33	32	1	0
② 元気にあいさつができる子どもに育ってきていますか	20	36	10	0
③ 何事にも進んで意欲的に取り組む姿勢は育ってきていますか	21	36	9	0
④ 物事を粘り強く最後までやり抜く力は身に付いてきていますか	22	37	7	0
⑤ 思いやりのある温かい心は育ってきていますか	29	34	3	0
⑥ 基礎的・基本的な学力が身に付いてきていますか	24	37	5	0
⑦ 話をよく聞き、自分の意見や考えを伝える力は育ってきていますか	18	35	13	0

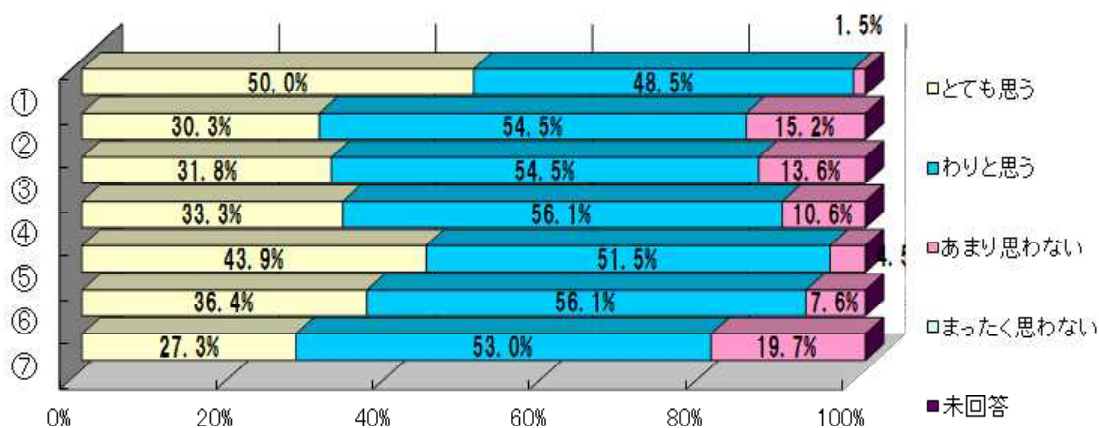
集計結果から（昨年度との比較など）、5項目が前年度よりも低い結果となっています。

①より 学校に行くことを楽しみにしている子どもが多いことがわかります。しかし、「あまり思わない」の回答も若干あり、すべての子どもが「学校に通うのが楽しい」、「できないことができるようになった」など自己有用感や自己肯定感を持てるように努めていきます。

⑦より 「はなしをよく聞き、自分の意見や考えを伝える力はそだっていますか」については、前年度同様に低い傾向にあり、必ずしも良い結果とはいえません。

これまで、本校では『自ら考え、自分の思いを表現することのできる子どもの育成』を研究主題に据え言語活動の充実において取り組んできました。今後も『子どもに身につけさせたい力』を明確にして、取り組んでいきます。

保護者から見た子ども像



なお、保護者から見た学校像については、次号で掲載いたします。

全体懇談会より ～ 保護者のみなさんにお伝えしたことを振り返ります ～

過日実施しました全体懇談会では、一年の締めくくりとして、学校から保護者の皆さんに、日頃ご理解とご協力をいただいていることと合わせ、お伝えしておきたいこととお話しました。今回概要は次の4点です。

なお、ご覧いただき、お気づきの点などありましたら、学校(教頭)までお知らせください。

一つ目は、冬休み作品展についてです。

『子どもの姿は、学校や家庭での関わりを写す鏡である』と言われます。この言葉を借りて言えば、学校はとして十分に子どもたちと向き合ってきたらどうかと自問自答の連続でした。保護者の皆さんからも学校評価アンケートで「すごくショックで悲しいです」といったご意見や「先生方と子どもたちのコミュニケーションが上手くいっておらず、一人ひとりの様子をしっかりと見て、接していない結果の表れだと思います。」などのご指摘もいただきました。学校は、子どもを叱ることはしても、何も反省をしていないと保護者の皆さんに映ったとしたら、学校は自らすべきことを果たしていないとも言えます。

今回のことを受けて、私たちは今後、同じことを繰り返すことがないように子どもに向き合っていくことを確認しています。

また、学校での教育活動が、これまで以上に家庭や地域としっかりと連携をとりながら進めていけるように努めていきます。

二つ目は、自尊心についてです。

日本の子どもは年齢が上がるにつれて自尊心が低くなる傾向にあるそうです。自尊心は自分に対する思いと周囲の影響を受けながら育つともいわれています。

自尊心を高めるためには、① 適切に目標を設定する(小さなことでも成功体験を重ねることが大切です)

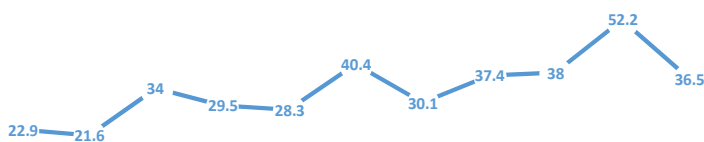
② 努力したことをほめる(がんばれ、よりも、がんばったね)

③ 期待感を持たせる(期待しないのも、期待しすぎるのも効果が薄いようです)

学校としまして、さまざまな体験を通して、子どもが達成感や成就感、自分を肯定的に受け入れることができるように日々の教育活動を充実させていきたいと考えています。

三つ目は、家庭での振り返り(家庭学習)についてです

ここ4年間の家庭学習時間の推移



本校では、これまで定期的に家庭学習の調査を行ってきました。左のグラフは、ここ4年間の家庭学習時間の推移を表したものです(グラフ中のポイントは、学年×10分+10分の達成度です。もちろん学年によってこの数値は異なります)。ご覧のとおり、年を経るごとに右肩上がりでも推移してきましたが、今回の結果からは家庭学習時間が十分に確保されていないことが読み取れます。今後も、学習時間の確保と合わせ学習内容の充実にも力を注いでいきたいと考えています。

～ 振り返ってみよう家庭学習 ～ 4つのポイント

- いつも勉強するところは、きれいにしているか(すぐに始める、集中力して学習に取り組むことができます)
- 何時までするか、何をするか確かめる(決まった時間に計画的に学習を進めることができます)
- 鉛筆の持ち方チェック(鉛筆を正しく持つことで、丁寧に正確に字を書くことができます)
- 腰をたてて勉強する(良い姿勢で机に向かうと、効率的に持続して学習することができます)

四つ目は、教職員の不祥事についてです。

報道等でもご存知のことかと思えます。過日、帯広市の小学校教諭が北海道青少年健全育成条例違反の疑いで逮捕されるというあってはならないことが発生してしまいました。本校では、この案件を真摯に受け止め、全職員で不祥事の根絶を誓いながら、教育活動を誠心誠意進めていくことを職員一人ひとりが改めて確認しあったところです。

保護者・地域の皆様もお気づきの点や心配事などありましたら、些細なことでも遠慮なくお知らせください。